



←人権教育係の
ホームページ
も併せてご覧
ください。

第66号(令和4年12月)
発行：小山市教育委員会

誰もが自分らしく生きられる社会へ

～性の多様性について考えよう～

近年、性の多様性についての関心が高まってきています。それに対して、性的指向や性的マイノリティに関する理解不足から、偏見の目で見られたり、差別を受けたりするなどの人権侵害も起こっています。国においても文部科学省が小中学生における対応を通知するなど動きがあります。また、「パートナーシップ制度」を施行する自治体が広がってきています。自治体が独自にLGBTQカップルに対して証明書を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。偏見や差別のない社会を実現するためには、多様な性や性のあり方についてより理解を深め、正しい知識を持つことが大切です。そして、相手に立場に立ち、思いやりや感謝の気持ちをもって生活することが大切です。誰もが自分らしく、生きられる社会をつくっていきましょう。

多様な性のあり方（セクシュアリティ）



性は、「男性」と「女性」だけではなくあります。性のあり方（セクシュアリティ）は多様で、様々な要素で形作られています。

生物学的な性＝からだの性

性染色体、内・外性器の形状などにより識別された性

性的指向＝好きになる性

Sexual Orientation

どの性別が恋愛の対象となるのかを表す性

＊性的指向と性自認の頭文字を取った

「SOGI（ソジ）」という表現もあります。

性的マイノリティとは



からだところの性が異なる人、性的指向が同性や両性に向いている人などは、人口に占める割合が少ないため、「性的マイノリティ（少数者）」と呼ばれることがあります。「LGBT」とは、性的マイノリティの方々のうち、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を組み合わせた言葉です。LGBT以外にも、自らの性のあり方について特定の枠に属さない人、わからない人を表す言葉に「クエスチョニング（Q）、クイア（Q）」があります。一般的にすべてを含めて「LGBTQ」と言われています。

性自認＝こころの性

Gender Identity

自分の性別をどう認識しているかを表す性

表現する性

Gender Expression

言葉づかいやしぐさ・服装などで個人が表現する性

Lesbian（レズビアン）女性の同性愛者

Gay（ゲイ）男性の同性愛者

Bisexual（バイセクシュアル）両性愛者

Transgender（トランスジェンダー）

からだの性とこころの性が一致しない人

出典・参考資料：『知ってる？性的マイノリティと人権』（栃木県人権開発活動ネットワーク協議会）『とちぎにじいろダイアル』（栃木県県民生活部人権・青少年男女参画課人権施策推進室）『性的マイノリティと人権』（愛媛県東温市教育委員会・東温市人権教育協議会）『多様な性への理解と対応ハンドブック』（長崎県人権・同和対策課）

国や県のLGBTQの現状

～性の多様性を理解し、尊重していく人権意識を～

日本におけるLGBTQの割合は、全体の約8%～10%と、約10人に1人が該当する調査結果が出ています。

（電通ダイバーシティ・ラボ「LGBT調査2018」、LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」）

しかし、現在、日本では同性婚やパートナーシップ婚を認める法律はありません。一方、地方自治体や企業では同性パートナーを認める動きも出てきています。栃木県では誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現のため、令和4年9月1日から「とちぎパートナーシップ宣誓制度」を導入しました。県が発行するパートナーシップ宣誓書受領カードは、公営住宅の入居申込みや医療機関における面会等の際に利用できます。

なお、同性婚をめぐる裁判では、先月30日、東京地裁が、同性愛者がパートナーと家族となるための法制度がない現状を「憲法違反の状態である」と指摘し、国会に対し立法措置を促したところです。

SOGI ハラスメントとは？

正しい知識を得ることが大切です。そして、相手を尊重する、問題を解決したいという気持ちが、誰もが生きやすい社会をつくっていきます。



「性別はこうあるべき」といった固定観念は、そこにあてはまらない人への偏見や嫌がらせ、差別を生み、そのことにより生きづらさを感じる人を生み出します。このような性的指向・性自認についての嫌がらせや差別は「SOGI ハラスメント」と呼ばれています。また、人権が侵害されていることが周囲からわかりにくく、気づかないうちに心の傷を大きくしていることがあります。

（例）差別的な言動や嘲笑・差別的な呼称、アウティング（SOGIについて他者が無断で、第三者に話すこと）、いじめや無視・暴力・不当な異動や解雇、自認しない性別での生活の強要（制服・服装・髪型・性別欄の記載等）



アウティングはやめましょう

受け入れる側の気持ちが大切です。性的マイノリティについての理解を深めながら支援してくれる人たちを、「アライ」と言います。

アウティングとは、他人の性的指向や性自認を、本人の許可なく他の人に話すことです。SNSなどで不特定多数に情報を流す行為もアウティングです。アウティングにより、本人が深く傷つき、それまでの生活が送れなくなることもあります。

カミングアウト（性的指向・性自認を他の人に打ち明けること）を受けたら、たとえ善意でも、本人の同意なく、他の人に伝えることは絶対にやめましょう。



ありのままの自分が受け入れられ、自分らしく生きることができる社会＝人権尊重の社会

『みんなちがってみんないい』『わたしもたいせつ あなたもたいせつ』

とちぎにじいろダイアル

性的マイノリティ
に関する電話相談

抱え込まず、
相談してみませんか？

直通
ダイヤル

028-665-8724

毎月第1・第3金曜日

相談無料

相談受付
日時

17:30～19:30

秘密厳守

＊祝休日及び年末年始を除く

ご相談の例

- ・自分や子どもの性別に違和感がある。
- ・同性を好きになったが、誰にも相談できない。
- ・性的マイノリティと打ち明けられたが、どう接したらよいか など

